



# かがやく浜の子

令和2年度3月号

令和2年度重点目標 「チャレンジいっぱい かがやきいっぱい」

## 「チャレンジいっぱい かがやきいっぱい」の一年間

コロナ禍での令和2年度が、過ぎようとしています。4月当初の臨時休校をはじめ、夏休みの短縮、学習形態や机の配置等の変更、日常の消毒・手洗い、修学旅行や野外学習の変更や短縮、校内行事への参観者の制限など、この一年間は、常に感染予防を念頭に置いて教育活動を進めてきました。多くの変更や中止、縮小がある中でしたが、浜の子たちは、「チャレンジいっぱい かがやきいっぱい」を目標に、たくましく学び続けてきました。

- ・1年生は、初めてのことに進んでチャレンジしました。ひらがな、カタカナ、漢字も覚えました。計算カードも一生懸命練習しました。アサガオを育てたり虫を捕まえたり、探検にもたくさん出かけました。
- ・2年生は、浜の子発表会で、しっかりと遊び方の説明することをめあてに取り組みました。クラスの友達のよさを見つけて、全員に「かがやきカード」を書きました。かけ算九九も何回も何回も練習して一生懸命覚えました。
- ・3年生は、運動会で、強い気持ち練習を重ね、赤白お互いに高め合うことができました。係活動では、アンケートを取るなど工夫して、学級みんなが楽しめる活動を進めました。初めてのはばたきの時間には、御前崎の自慢を広めることができました。
- ・4年生は、運動会や2分の1成人式で、仲間と協力し絆を深めることができました。仲間と一緒に話し合ったり、進んで休み時間に練習したりして、悔いのない運動会と素敵な2分の1成人式を創り上げました。
- ・5年生は、「はばたき」のトリックアートで、地域の人々を楽しませることができました。「6年生を送る会」では、ZOOMを使った新しい形で行うことを計画し、感動のある会を創り上げました。観音山野外学習では、大自然の中、仲間を協力して活動できました。
- ・6年生は、白羽小のリーダーとして、委員会や行事を引っ張りました。登校グループ、たてわり班活動でも、中心となって進める頼もしい存在でした。進んで「あさしおごはん」を行う姿は、下級生のお手本でした。
- ・なかよしは、1年生から6年生まで自分のペースで学習に取り組みました。なかよしマーケットでは、みんなで育てた野菜や自分で作った作品を販売しました。小雪・小梅の世話、白羽幼稚園の友達との交流など、みんなを笑顔にする活動にチャレンジしました。



【子供たちの良さでいっぱいになった「かがや木」】

※

子供たちが成長できたのは、保護者・地域の方々など子供たちを支えるすべての方々のおかげです。また、わたし個人としても、学校だよりを作成する際には、どんな話題にしようか、毎回、頭を悩ますわけですが、保護者や地域の方から『『84歳の中学生』のTVを、私も見ましたよ。』とか、『『たんぼぼ劇団』へのお礼の活動、素晴らしいですね。』などと、感想をいただくことがあり、たいへん励みになりました。

今年度一年間、白羽小教育活動に対して、保護者・地域の皆さんから温かな御支援をいただいたことを感謝いたします。ありがとうございました。  
(文責 校長)